

第1章 平成28年度の事業報告(概要)

1) 臨床研修病院の研修プログラムに関する評価事業

臨床研修病院において社会の要請に応える適切な研修プログラムが作成され、プログラムとおりに研修が実施されているかを評価し、認定を行う。

申請数(累計)	H26年度	H27年度	H28年度
新規 受審 申請数	210	225	242
新規 受審 申請数 : 非更新の再申請	1	3	4
更新 受審【訪問調査】申請数	170	222	264
更新 受審【書面調査】申請数	132	157	202

訪問調査 実施数(累計)	H26年度	H27年度	H28年度
(1)新規 訪問調査 実施数	192	209	227
(2)更新 訪問調査 実施数	160	220	264
(3)再調査 実施数	8	8	8
(4)補充調査 実施数	1	1	1

認定証発行数(累計)	H26年度	H27年度 ※	H28年度
新規 認定証 発行数	180	206	224
うち再認定		1	4
更新 認定証 発行数	150	214	255

認定証発行日を基準に算出。3月中に認定証の発行が決定した病院(4月1日付認定)は翌年度に計上。

大学病院・臨床研修病院を対象に調査を実施し、新規調査(初回訪問調査)が227病院に達した。報告書のフィードバックは、訪問調査日から約45日で行うことができている。評価結果を迅速にフィードバックできることが、病院側の改善意欲を維持促進させ、臨床研修プログラムの質の向上を図る上での疑問点等の解決に効果的に役立てられると期待される。

また、設立当初より臨床研修評価の普及のため抑えて行ってきた評価料の設定を見直し、本来の適正な価格に改定した。適用は平成29年4月以降に訪問調査を行う病院からとした。さらに、認定期間「6年」は質を保つためには期間が長すぎるという経緯から設定期間の見直しを行い廃止した。代替えとして認定期間「4年」の病院のうち、基準を満たす病院にExcellent賞を発行することとした。これらについては、5月に開催の会員総会にて承認を得て、周知を図った。

2) 臨床研修病院の研修プログラムに関する人材育成事業

(1) 臨床研修評価に必要な評価者(サーベイヤー)を養成する

サーベイヤー養成状況
(1) サーベイヤー講習会の開催回数: 1回
(2) サーベイヤー講習会の受講者数: 42名
(3) サーベイヤー登録数: 42名
(4) 訪問調査(62調査)におけるサーベイヤーの稼働状況
サーベイヤー出勤数: 延数250人(サーベイ担当: 183人、オブザーバー: 9人、OJT: 58人)
OJT: On the Job Training

(2) 臨床研修に関する講習会

- ・臨床研修病院事務担当者講習会: 1回
- ・臨床研修実務者コース(応用編): 1回

当機構正会員のうち評価事業に協力できる者を対象にサーベイヤー講習会(新規サーベイヤー養成講習)を開催し、サーベイヤーの心得と役割および業務、ならびに評価体系に関する知識についての全課程を修了した者をサーベイヤーとして登録した。また、臨床研修病院の事務担当者を対象とした講習会、臨床研修実務者(責任者、指導医、指導者含む)を対象とした講習会を開催した。

3) 臨床研修病院の研修プログラムに関する研究開発事業

臨床研修病院において必要とされるものは何か、臨床研修病院のあり方について研究開発し質の高い臨床研修の実現を支援する。

- ・改訂版October2016として完成させた。
- ・サーベイヤーによる評価項目等の研究会として、本年度は「訪問調査業務の標準化について」、「実務者（事務担当者を含む）の育成について」をテーマに開催した。
- ・質の評価に関する研究のその他、卒後臨床研修に関する情報収集と提供については、「医師臨床研修の国際比較」について開催し、本年度はプライマリ・ケアとドイツの医師臨床研修を中心に研究した。

4) 卒後臨床研修に関する情報収集及び情報提供事業

卒後臨床研修に関する情報の収集や評価に関する研究結果の公開などをホームページや資料等で行う。

メールマガジンとホームページ上にて評価機構の活動状況等を案内している。

今年度はホームページの見直しを行い、より多くの情報を公開した。

- ・書面調査October2016（臨床研修調査票、自己評価調査票《評価項目》）を全公開した。
- ・研修医手帳「2017 D.diary 研修医手帳」を会員には無料頒布、非会員には販売した。

5) その他の事業

(1)厚生労働省の協力要請により、サーベイヤーの派遣(平成28年10月～11月)を行った。

厚生局(病院数:9)	協力サーベイヤー	(敬称略)
北海道(1)	中村 利仁	
東海北陸(1)	霧 知光	
関東信越(1)	清水 勝	
東海北陸(2)	浅妻 直樹、 石川 康朗	
近畿(1)	谷口 弘毅	
四国中国(2)	磯和 理貴、 藤 信明	
九州(1)	野水 眞	

(2) モンゴル国 一次及び二次レベル医療従事者のための卒後研修強化プロジェクト国別(カウンターパート)研修(主催:独立行政法人国際協力機構《JICA》、実施機関:独立行政法人国立国際医療研究センター《NCGM》)の協力要請により昨年度に引き続き講演(平成28年10月31日)を行った。